

センターを積極的に利用して内定を勝ちとった学生の声

内定先：食品製造業
農学研究科2年 大橋 大



就職活動が始まる直前、キャリアフェスティバルに参加し、内定先の企業と出会いました。センターが企画した同社の工場見学にも参加し、仕事に強く惹かれました。学部時代にキャリア教育科目を受講しましたが、企業研究の仕方、意義を学ぶことができた就職活動に生かされました。

学部時代にキャリア教育科目を受講しました。工学部で企画されたOBによる説明会に行ったことが就職活動を始めのきっかけとなりました。最終的には研究室の現場見学に行ったことが縁で、ゼネコンから内定をいただきました。



内定先：建設業
工学研究科2年 星山 仁篤

内定先：国家公務員
教育学部4年 碓井 久美子



就職活動を控え、自分の進路に迷っていた3年生の前期、「何がかわるかも、何が発見するかもしれない」という思いでキャリア教育科目を受講しました。その年の12月、学内で開催された合同公務員説明会に参加したのをきっかけに公務員を目指そうと決め、勉強と苦手だった面接もセンターで練習を重ね、合格しました。

就職活動が不安で、センターの方に相談に乗っていただきました。OB、OGの方を紹介していただき、そこで内定先の先重と知り合うことができました。センターを通して、同業他社がたくさんある企業の中で内定先を絞るきっかけをいただきました。キャリアカフェに通い、カフェにある豊富な就職本にも助けられました。



内定先：旅行業
国際学部4年 平野 あやか

キャリアカフェの紹介



就職関連の資料の閲覧と学生相互の情報交換ができる学生の「たまり場」です。
あるもの できること
・就職活動に役立つ書籍等
・公務員・教員の試験対策本
・日経新聞・経済雑誌
・コーヒーマシン
・パソコンが自由に使える
・職業興味診断(キャリアインサイト)の利用
・昼休みを利用したミニオープンセミナー

学生による学生のための就職支援

JUST (宇大就職活動応援団)

後輩のために就職支援イベントなどを企画・実施する内定者の団体(平成20年度結成)です。就活の経験を後輩へ伝え、相談にも応じる、就活生の心強い味方です。

WILL (就活サポートチーム)

就活生を支援することを目的とした1、2年生の団体(平成25年度結成)です。就活生の支援だけではなく、低学年から将来の「キャリア形成」を意識していく一翼を担ってくれる存在として期待されています。



宇大の一大イベント紹介

キャリアフェスティバル

キャリアフェスティバルは、宇都宮大学独自のイベントです。全学年を対象とした一大イベントで、キャリア教育の一環として業界を代表する企業約10社を招いて、パネルディスカッション、分科会を行います。産業界や企業が不透明なグローバル社会の中でどのような経営戦略の下に進もうとしているのか、どのような人材を求めているのかなど、今後の学生の将来を取り巻く環境や業界・企業の動向・考え方を学ぶ機会を提供しています。

今年の開催：11月9日(土)12:30~

会場：第一体育館ほか

*参加企業

オリエンタルランド、資生堂、本田技研工業、東芝メディカルシステムズ 他6社



学内合同企業・公務員説明会

就職活動を迎えた学生を対象に、約160社の企業、約20の機関を一同に集め、ブース形式で、企業や公務員の個別説明が行われます。文系・理系問わず多くの募集職種があり、さまざまな企業や職種と出会える機会を提供しています。

今年の開催：12月9日(月)~13日(金)



特 宇都宮大学

集 キャリア教育・就職支援センター

<http://www.career.utsunomiya-u.ac.jp>



4年一貫のキャリア教育 と手厚い就職支援

「キャリア教育・就職支援センター」の役割について、副センター長の末廣啓子教授にお話を伺いました。

Q いま、キャリア教育の必要性が高まっています。どのような背景があるのでしょうか。

グローバルな時代の中で雇用環境や働き方・働かせ方が大きく変わり、働く選択肢は多様化しています。でも、こうした現実が生徒たちに充分伝わっていない側面があります。働くということをきちんと理解し、自分の人生を自分らしく生きるためにはどういう道筋で何をすればいいのか選択する力をつける必要があります。そこに、キャリア教育が求められる理由があります。

Q 宇都宮大学のキャリア形成支援の特徴について聞かせてください。

まず一つは、4年一貫のキャリア教育です。入学後のガイダンスで、学生と保護者に将来を見据えた学生生活を過ごすことについて話をすることから始まります。全学科で開講される新生セミナーでは初期導入キャリア教育の授業を全員が受講します。基盤教育として専任教員や企業人など外部講師による「キャリア教育科目」が実施され、専門教育の中でも専門学問と社会、自分の生き方との関わりを理解することを目指します。授業の他に、キャリアフェスティバルという大きなイベントも特徴です。また、キャリア教育と一体化した手厚い就職支援も特徴の一つです。多様な就職ガイダ

ンス・セミナーを頻繁に開催し、個別相談体制も充実しています。特に、未内定者に対して3年前からキャリアセンターの職員が一人ひとりにアプローチし相談に乗り、企業の紹介なども行ってきました。こうした手厚いフォローが、本学の高い就職率につながっているのではないかと思います。国際的な金融危機を引き起こしたリーマンショック以降も、本学学生の就職率は早い段階で高水準に回復しました。今年3月に卒業した学生についても95%と高い就職率になっています。

Q キャリア教育の基本的な考え方を教えてください。

キャリア教育では、広い視野、主体性、起業家精神、チャレンジ精神を身につけてもらうことを目指しています。自分が生きていく社会に関心を持ち、働き方等の実態を正しく理解するとともに、いろいろな人の人生にふれ、働き方や働く人の思いを理解することを基本に、そこから、自分を知り、感じ、考えていくことを大事にしたいと思っています。

Q 特色ある授業が行われていますね。

すべてのキャリア教育授業を紹介した冊子『将来の進路を考え今何を学ぶべきか』を作成して全学生、教員に配布し、1年生からの計画的な履修を呼びかけています。フリーターにインタビューして働くことの意味を問い直すユニークな授業や留学生のプログラムも提供しています。今年から宇都宮市と連携して実施する「起業の実際と理論」の授業は起業家精神を養ってもらうことが目的ですが、たくさんの方が受講しています。授業は、すごく活気があり、自分で何かやりたいという学生が増えてきていると感じています。

キャリア教育・就職支援センターによるサポート

進路相談室(1~4年生、大学院生)

キャリアアドバイザーに毎日相談できる体制が整っています。

全学プログラム行事(1~4年生、大学院生)

1・2年生のうちからキャリアや就職について考え、体験してもらうために、全学生を対象に「キャリアフェスティバル」「学生支援プロジェクト」等を行っています。

インターンシップ(2~4年生、大学院生)

企業や官公庁など、実際の職場で仕事を体験します。社員と同じような分野で働く中で、企業・仕事・働くことを理解するものです。

就職情報の提供(1~4年生、大学院生)

求人・セミナー情報をはじめ、業界本などの就職関連図書・雑誌などを自由に閲覧することができます。設置してあるパソコンを使っての適職発見や企業情報の検索もできます。

就職ガイダンス・セミナー(3、4年生、大学院生)

具体的な就職活動に向けて、ガイダンス、セミナーを実施しています。主なプログラム『これから始まる就職活動』『業界・企業・職種研究法』『ビジネスマナー講座』『就職面接実践講座』『教員採用対策セミナー』『筆記試験対策講座』『職務適性テスト』『就職支援バスツアー』等

キャリア教育授業

1、2年生のうちから社会の状況に目を向けるとともに、自分や自分らしい生き方について考え、学生生活の目標を立て具体的な進路・職業選択ができる目を養います。

「人間と社会」

労働市場、企業、人々の働き方を理解し、働くことの意味を考える。

「キャリアデザイン」

インタビューとグループワーク、演習、ゲストの話を通じて、自分について知り、社会との関わりを考え、自らのキャリアをデザインするための材料ときっかけを得る。

「企業のグローバル戦略とキャリア形成」

企業(特にIBM)のグローバル戦略に関する学びを通して、自らのキャリア形成を企業の現役の人事パーソンとともに考える。

他「起業の実際と理論」、「より良く生きる」、「働くことの意味と実際」などがあります。